

「平成26年8月広島豪雨土砂災害緊急砂防事業完成式」を開催！

- ◆平成26年8月20日の広島豪雨土砂災害からの復旧・復興のための砂防堰堤等の整備が令和2年8月に全てが完成したことより、緊急砂防事業の完成式を12月6日（日）に梅林小学校（広島市安佐南区八木3丁目）において開催しました。
- ◆完成式には、赤羽国土交通大臣、湯崎広島県知事、松井広島市長、国会議員、県・市議会議員、地元関係者など約80名が出席し、主催者・来賓挨拶、国・県の工事報告、地元の声として2名の方よりお言葉を頂くとともに災害の記憶や土砂災害から命を守るための心得が表示された「防災看板」の披露を行いました。

【主催者挨拶】



赤羽 国土交通大臣

国・県・市が一体となり99箇所、砂防堰堤等の整備が完成し、地域の復旧・復興に加え、今後の防災・減災対策で大きく期待するところ。防災・減災が主流となる社会の構築に全力を傾けてまいります。



湯崎 広島県知事

県民の皆様と心をつなげて「災害に強い広島県」の実現に向けたハード整備に加え、ソフト対策の両面からの防災・減災対策に全力をあげて取り組み「災害死ゼロ」を目指してまいります。



松井 広島市長

私たちが生まれ育ったこの広島を世界に誇れるまちとするために、引き続き国・県と連携し被災地の復旧・復興、これを全力で取り組んでいきたい。

【防災看板披露】



赤羽国土交通大臣
岸田衆議院議員
湯崎広島県知事
松井広島市長
平口衆議院議員
森本参議院議員
広島県議会議長(代理)
石橋広島県議会建設委員会委員長
国土交通省水管理・国土保全局
今井砂防部長
山田広島市議会議長
足立参議院議員
駐元衆議院議員
齊藤衆議院議員

【工事報告】



忘れないこの記憶



広島西部山系砂防事務所
熊澤事務所長

国土交通省では、特に被害の著しい30渓流において40基の砂防堰堤、2基の土石流堆積工の整備を実施した。



広島県西部建設事務所
宮本事務所長

広島県では、21箇所、砂防堰堤や急傾斜地の整備を実施。また、土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定の加速化を図ってきた。

式典前の慰霊碑献花の状況



梅林小学校の慰霊碑前で献花を行う、赤羽国土交通大臣（中央）、岸田衆議院議員（奥側）、齊藤衆議院議員（手前側）

【地元の声】

梅林学区復興まちづくり協議会
菅原辰幸会長



国土交通省による40基、広島県による16基の砂防堰堤が完成し、土砂災害による不安が解消した。
国土交通省ならびに広島県、広島市に対し、砂防整備事業が完成したことに感謝いたします次第です。ありがとうございます。

愛媛大学環境デザイン学科1年
澤本 陽奈 様



中学1年の時に自宅で被災し、祖母を亡くした。緊急時には早めの避難をすることで自らの命、大切な家族の命を守って欲しいです。
後悔する人を増やさないために祖母が命を持って教えてくれたこと、大好きな祖母との思い出を胸に自分ができることをこれからも頑張っていこうと思います。



Mr.エンテ

広島西部山系砂防事務所